



コラボラキャンパスネットワーク講演会

2011年7月13日 北九州市立大学にて

☆子どもの声が響き渡るまち☆



～子どもの遊び場「きんしゃいきゃんぱす」を拠点として～

講師 子どもの遊び場「きんしゃいきゃんぱす」代表 山下 智也さん
九州大学 学術協力研究員(人間環境学博士)

◆子どもの遊び場・立ち寄り場「きんしゃいきゃんぱす」は、福岡市東区の箱崎商店街きんしゃい通り内に、平日の放課後2時間程度開いている遊び場です。そこでは、いつも2・3名の大学生スタッフがいます。2004年から続くこの遊び場のお話を今回うかがって、大学生と子どもの距離感がいいなあ…と感じました。そこでは、大人や大学生は『教育的まなざし』から脱却しています。子どもや遊びへの評価もNGです。大人が先回りせず、子どもは自らの「やってみよう」を発見し、主体的に遊んでいくことがしっかり尊重されています。



山下 智也さん

コラボラの外遊び・ミニプレでも大事にしている「自分の責任で自由に遊ぶ」という体験の積み重ねが、自然と何事にも主体的に取り組んでいけるようになる…ということを経験者が大切に共有しているようでした。山下さんは「居場所“づくり”」という言葉に違和感を感じるそうです。人から与えられるものではなく、ひとりひとりが、自らその場を「自分の場所」にしていけることが本当ではないかと。大人として、その「隙間」を保障できるかどうか、その橋渡しとなり得る「関わり」が重要！というお話。子どもが安心して、思い切り、思いついたことをやってみるその表情、遊びのダイナミックさ、可笑しさ！！たくさんの画像をみせていただきながら、会場に笑いが広がりました。

「ここって、一人で遊んでいても、みんなと一緒に居るって感覚なんだよね」「ここがあって…よかった…」という子どものつぶやき。おそらく何かつらいこと、悲しいことがあった日に、子どもはここに立ち寄りながら遊びながら回復していったのでしょう。山下さんのお話を受けて、北九州市立大学の楠 凡之先生からも「家でも、学校でもない第3の世界、関わり方の保障」についてのまとめがありました。すべてを再現できないのが残念ですが、場所の持つ力を改めて感じると共に、かたまってきたアタマにならないように、子どもたちの“いま・ここ”にいっしょにいられる大人でありたい、と思いました。

感想

- ◆「子どもたち自身がつくりあげる場所、「きんしゃいきゃんぱす」を知ることができて、とてもよかった。」
- ◆「大人がほとんどかかわらず、自由に過ごせる場所というところは子どもたちの自立につながる。」
- ◆「子どもが主体的に遊んでいくことで地域に育てられていくと思いました」
- ◆「毎日のように通える場があることが大切だと感じました。」
- ◆「子どもの豊かさって何だろうと考えさせられました。学校でもなく、親でもなく、第3の人とのかかわり(地域?)、必要だと思います。」



↑活動の様子を見ながら…

←北九州市立大学
楠 凡之先生

『コラボラキャンパスネットワーク』とは？

2006年1月から北九州市立大学で、「北九州市立大学」、「乳幼児子育てネットワーク・ひまわり」、「NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」、「高齢社会をよくする北九州女性の会」、「NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画」の5団体が取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。普段接することの少ない学生と地域の方々が北九大キャンパスを拠点に交流できる活動やイベントを展開中です。

活動File ① NPO法人 北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee

◆7月27日(水)のミニプレーパーク(外遊び)は、「そうめん流し」を北九大の芝生広場で開催しました。参加者は乳幼児&小学生の親子、学生さんをはじめ、総勢99人。今年も、身近な北九州の野山で自然体験を目的とした活動をしている「asobi 研究所」のみなさんが、本格的な「竹のそめん流しセット」をこの日のために準備して下さいました。流れてくるそめを「わいわい♪」と言いながらゲット!子ども達も上手にそめをすくって楽しそうでした。

「わたしも、そめんがした〜い!」と幼い子ども達も大人の真似してお手伝い。これも外遊びの延長?外でのそめん流しが初体験の方も多かったようで、楽しさ倍増。おなかいっぱいになった子ども達と学生さんが、楽しそうに遊ぶ姿も印象的でした。暑かったこの夏、北九大で多世代交流の輪が楽しく広がりました。



★「ミニプレーパーク」は、9月から第2水曜日になります。9月14日・10月12日・11月9日・12月14日。
北九大芝生広場にて 10:30~14:30・参加費1家族100円

活動File ② 北九州市立大学 地域創生学群 ~廣渡ゼミ さざん研修~

◆6月15日(水)、私たち廣渡ゼミ・実習生は、小倉南区親子ふれあいルーム「さざん」で、子どもの“遊び”についての研修を受けさせていただきました。子どもにとって遊びとは、どのようなものか学ぶことができる良い機会となりました。その日、「さざん」スタッフが絵本の読み聞かせを行っていました。子どもへの読み聞かせ方や接し方など、とても勉強になりました。今後子どもと接する際に、今回学んだことを活かしていきたいと思っています。(廣渡ゼミ3年 藤野彩華)



おしらせ 観月会(お月見会)

10月7日(金) 18時~20時

*4号館前芝生広場にて(雨天時は4号館1階教室で 荒天時は中止)

秋の夜の美しいお月様をみながら、歌ったりお話をきいたり楽しいパフォーマンスを楽しみましょう!今年、子どもたちに伝えたいふるさとの味~東北の芋の子汁、小倉のぬか炊きやお月見団子などが入った多彩な「高齢社会をよくする北九州女性の会」自慢のミニ弁当が登場します。

- ◆ミニ弁当セット(芋の子汁+ミニ弁当)300円・80セット限定 予約券あります。希望の方は、下記問い合わせ先へ。
- ◆パフォーマンス参加も募集中です。
- ◆参加は無料・幅広い世代の皆さんの参加をお待ちしています。
- ◆駐車場がありません。公共交通機関を利用してお越し下さい。
- ◆問い合わせ先:高齢社会をよくする北九州女性の会事務局
093-583-7604 携帯 090-1342-2094

菜園便り ~秋冬野菜と花の種まき・苗植え~
9月14日(水)&10月12日(水) 10:30~14:30
◆本館2階テラスと4号館前で、多世代で交流しながら季節の花や野菜を育てています。土作りから種まき苗植え体験してみませんか?ご都合のつかない方は、この日に限らず、水やり他いろいろ参加できます。お問合せください。

◆北九大の新しい施設をご紹介◆



今年4月に1号館と2号館の間に「学生交流スペース」がオープンしました。この施設は、学習や休憩・食事など多目的に利用可能な交流スペースです。真っ白い外観から、学生の間では「ホワイトハウス」と呼ばれているようです。

*開館時間 9:00~21:30(日・祝日除く)
*またモノレール側の通用門の横に、バリアフリー化された新たな門「青嵐門」も完成しています。是非ご利用ください。

◆近藤倫明学長と4つのNPOでの連携協定調印式を行いました◆



今年度から就任された近藤倫明学長とみんなで撮影!近藤学長さんは副学長さんの頃から学内のプレーパークについての座談会に参加していただくなど、子どもの育つ環境づくりに、大変関心を寄せていただいています。キャンパスを舞台に、今年度も子どもを真ん中に多世代交流の様々な活動を上げていきます!

TOPIC